



社内の定例会議では女性社員が議長・司会役を務める

女性が輝く 京都企業

2

河市水産

男女が対等に輝ける職場環境づくりで 有能な人材を育み企業を内側から活性化

河市水産は京都市中央卸売市場第一市場で活躍する鮮魚仲卸業の老舗。威勢の良い声が飛び交う男性中心の風潮が強い業界ながら、男女区別なく能力に応じた活躍ができる職場環境を整えている。

同社は平成9年に長期経営計画を策定したことを機に、労務管理の徹底と社員の意識変革に着手。平成12年にはその主軸となる人事部を新設し、長時間勤務を見直し、量より質の業務を目指すとともに、男女に差のない給与規定を実現したことが、ひとつの転機となった。その人事部への採用第1号として入社したのが主任の菱田裕理花さん。一連の社内改善に辣腕をふるう管理担当取締役・堀井雅彦さんのもとで、意欲的にキャリアアップへの道を開いた。「セミナーや勉強会に参加したり、衛生管理者の国家資格を取得したり…業務に役立つと思えば貪欲に取り組みました。会社の理解とサポートがあってこそです」と語る菱田さん。労務管理や人材育成に関する知識を身につけた現在で

は、次世代を担うリーダー候補として、すべてのプロジェクトチームや定例会議で中心的役割を果たす。「生き生きと活動する菱田さんの存在が、男女を問わず全社員の大きな刺激になってきましたね。彼女を核に社内のコミュニケーションが活発化し、新たなチームワークが生まれていきました」と上司の堀井さんも誇らしげである。

こうしたなかで、本人の希望や能力に応じたステージが用意され、向上心をもって仕事に取り組める職場づくりが進む。今では、かつて男性社員の部門とされていた営業部や配送部でも、本人の希望で配属された女子社員が活躍。「NO 残業」「NO 早出」「NO 休日勤務」の実践、産休・育休後の勤務体制の工夫など、フォローも手厚い。「女性の活躍なくして、企業の未来はない」という方向性をいち早く打ち出し、改革に取り組んだ成果は、確かに実を結んでいる。



管理担当取締役の堀井雅彦さん(左)、主任の菱田裕理花さん



河市水産株式会社

代表者/山岡秀行

住所/京都市下京区朱雀分木町31

TEL / 075-311-6554

URL / <http://www.kyoto-kawaichi.co.jp/>

事業内容/ 鮮魚・魚介類仲卸業

従業員/82名(男性54名、女性28名)(2015年6月5日時点)